## The Urban Infrastructure & Technology Promotion Council アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

# 4回技術研究発表

I 論 文I プロジェクト・技術報告



16日(月)

www.uit.gr.jp

開催日

テーマ

2022年 1 1月 25日(金曜日) 午後

デジタル社会に向けたポストコロナの 持続可能な地域づくり、まちづくり

共通セッションテーマ: 健やかで持続可能な地域づくり、まちづくりを支える技術

場 会

3 × 3 Lab Future (\*)

住 所:東京都千代田区大手町 I-I-2 大手門タワー・ENEOSビル I 階 最 寄:JR東京駅、メトロ 大手町駅

CPD認定

日本都市計画学会 \*発表者・共著者は発表者としての単位取得可

土木学会

応募方法

エントリー書類をUIT事務局へメールにてご提出ください

提出先・問い合わせ

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 事務局

住 所:東京都文京区関口1-23-6

(一財) 都市みらい推進機構 内

Tel: 03-5261-5625 Fax: 03-5261-5629

E-mail: uit@uit.gr.jp

主催・後援

I 論 文

協 賛:三菱地所株式会社

後 援:国土交通省、東京都、独立行政法人都市再生機構

一般財団法人都市みらい推進機構

主催:アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

発表分野 (予定)

◇ 環境・エネルギー 部門 ◇ 情報・防災・交通 部門 ◇ まちづくり・都市の再興 部門

Ⅱ プロジェクト・技術報告

該当するとみなされた演題

\*Ⅰ、Ⅱの演題のうち共通セッションに

Ⅲ 共通セッション

※新型コロナウィルス感染拡大リスク低減に努めた上で実施します。なお、状況に応じてオンライン開催等、詳細が変更になる場合がございます。

## 2022年5月16日(月)~7月1日(金)

#### テーマ説明

## デジタル社会に向けたポストコロナの 持続可能な地域づくり、まちづくり

発生から2年以上続く新型コロナウィルス感染症の災禍は、国民生活はもとより、社会・経済の全領域 に大きな影響を及ぼしています。ソーシャルディスタンスの保持やステイホームを促進するリモート ワークが推奨され、宅配サービス、インターネットを用いたオンライン会議が多用されるニューノーマ ルの形成にはデジタル技術が寄与しています。政府のデジタル社会形成基本法の制定をはじめ、IoT、AI、 5Gなどの新技術を活用したDXが進められています。また、一部では地方回帰の兆しやワーケーションと いう新たな生活スタイルもみられます。

一方でコロナ以前からの地球的課題である脱炭素、エネルギー問題等の持続可能性の追求は、SDGsと いう共有目標に集約されその対処が求められています。

地域づくり、まちづくり分野では、スマートシティへの取り組みや3D都市モデルなどが、デジタル技 術を駆使した施策として注目され、また持続可能性追及の一環としてグリーンインフラ等の環境問題へ の対応がなされています。

このような認識から第34回技術研究発表会は「デジタル社会に向けたポストコロナの持続可能な地域 づくり、まちづくり」をテーマとして開催いたします。また、政府のデジタル田園都市国家構想にある ような地域の課題解決におけるデジタル技術の応用やウォーカブルでコンパクトなまちづくりなど、多 様な住まい方・働き方について考えるコロナ後の「健やかで持続可能な地域づくり、まちづくりを支え る技術」をテーマにした共通セッションを併せて開催いたします。

#### 応募種別

#### I 論文

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する先端的な技術を適用した事例や都市づくりに関する 構想等をわかりやすく平易に表現した論文 \*原則として未発表のもの(梗概・論文・発表データの作成、発表)

Ⅱ プロジェクト・技術報告

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する技術開発、先端的な技術を適用した事例や都市づくり に関する構想等をパワーポイント、映像等により報告・内容説明 (梗概・発表データの作成、発表)

#### 応募資格

- ■一般企業:原則として当推進会議の会員
- ■国、地方公共団体、研究機関、各種団体 等
- ■大学(研究者・大学院生)、学識経験者 等
- ■産・官・学等の協働の事業プロジェクト 等
- ■国から推薦を受けたもの
- ■当推進会議の会員から推薦を受けたもの

### 審查分野

- Ⅰ 論 文 (各部門の名称は予定)
  - ◇ 環境・エネルギー 部門
  - ◇ 情報・防災・交通 部門
  - ◇ 都市の再興・まちづくり 部門

#### 発表分野

- Ⅰ 論 文 (各部門の名称は予定)
- ◇ 環境・エネルギー 部門
- ◇ 情報・防災・交通 部門
- ◇ 都市の再興・まちづくり 部門
- Ⅱ プロジェクト・技術報告
- Ⅲ 共通セッション

\*Ⅰ、Ⅱのうち共通セッションに該当するとみなされた演題

■審査分野(Ⅰ)および発表分野(ⅠⅡⅢ)は、

エントリー締め切り後、論文審査委員会・技術研究発表委員会にて振り分ける

#### 選考・表彰

■選 考:論文審査委員会において論文審査の後、採択された論文は、第34回技術研究発表会において論文発表 を行う

■表 彰:第34回技術研究発表会において論文発表をおこなった論文の中から、各分野ごとに優秀賞(各Ⅰ)、 奨励賞(各1~2程度)を閉会式にて発表し、表彰する

#### エントリー・HP

■エントリー:募集要項やエントリーフォーム等はHPよりダウンロード可

■H P:技術研究発表会関連情報や過去の論文・梗概が閲覧可

www.uit.gr.jp

